

## 北九州市議会の支援活動

### ①市議会議員全員による義援金（平成 23 年 3 月 22 日）

一日も早い復旧と復興を支援するため、市議会議員全員から集めた義援金（61 万円）を全国市議会議長会を通じて被災地へ送付

### ②東日本大震災の救援に関する申入れ（平成 23 年 3 月 29 日）

議長、副議長及び会派代表者（計 7 名）が議会を代表し、市長に対して早急かつ適切な被災者の支援及び被災地の復旧のための支援を行うために、時機を逸することなく、見舞金を支出するなど必要な財源措置その他の対策を総合的に実施するよう申入れ



市長へ申入れを行う佐々木議長

### ③平成 23 年 6 月市議会定例会にて黙祷を実施（平成 23 年 6 月 1 日）

議場にて本会議出席者全員で黙祷を実施。



### ④平成 23 年 6 月市議会にて意見書・決議を可決

（可決した意見書・決議）

- 震災からの復興に向けた補正予算の早期編成と成立を求める意見書
- 福島第一原子力発電所の事故の一刻も早い収束と原因究明を求める意見書
- 東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書
- 福島第一原子力発電所事故による避難者の支援等に関する意見書
- 東日本大震災の救援に関する決議

⑤平成 24 年 2 月市議会定例会にて黙祷を実施（平成 24 年 3 月 12 日）

議場にて本会議出席者全員で黙祷を実施。

⑥東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する決議を可決（平成 24 年 3 月 12 日）

市に対し、科学的な知見により放射能の影響を検証し、放射線量の測定等十分な体制を整えることを条件に、通常の廃棄物相当と判断されるものについて受入れを表明することを要請。

なお、受入れに際し、岩手県及び宮城県のがれきについて情報を開示し、国及び本市が市民への説明責任を履行するとともに、本市において放射性物質濃度を国の基準以下にするなどの検討もあわせて要請。